

---

---

～ 従業員が喜び、顧客が感動し、会社が儲かる!! ～

# 未来工業(株)

## バーチャル工場見学セミナー

～ 独自の経営哲学の同社から学ぶ人員流出防止方法 ～

---

---

### 【受講対象者】

人員流出対策でお悩みの経営者・総務(人事・管理)部課長  
会社利益向上方法にお悩みの経営者・経理部課長  
社風(組織風土)活性化や人財育成方法にお悩みの経営者・総務(人事・管理)部課長  
業務改革推進部署や改善活動事務局の方  
自社の快適職場化にチャレンジしてみたい意欲のある方(部署・職位不問)

### 【受講のおすすめ】

#### 未来工業(株)とは?

『働き方改革』関連法の要求レベルは非常に高く、9割以上の会社で利益率低下を余儀なくされています。しかし当の昔にこれをクリアし、なおかつ高い利益率を継続している会社があります。それが**未来工業(株)**です。同社が社員全員正社員(定年71歳)、就業時間7時間15分、年間休日140日、残業・休日出勤なのは、同社が儲かっているからやっているのではありません。これをやっているから**20年間経常利益5%以上という安定した業績**を上げているのです!! また

#### 御社も未来工業(株)になれる!!

この工場見学セミナーでは、「見える化」、ムダ取り、従業員のやる気と能力の最大化、人財育成、福利厚生、間接部門の極小化、5S、安全衛生等、様々な観点から同社の優れている点を解説していきます。同社とあなたの勤める会社との違いを認識していただいた後、**あなたの会社を未来工業(株)のようにする方法**についてお話いたします。ES(従業員満足度)向上 → CS(顧客満足度)向上 → **会社利益向上**が経営方針である同社は**従業員のやる気が会社利益に直結**していることを深く認識しており、従業員をやる気にさせるための施策とマネジメントを徹底して行っています。これらは**皆さんの会社でも必ず実施**できます。今こそ『働き方改革』の勝ち組企業、未来工業(株)に学ぶときです!!

#### 当セミナーの特長

他の未来工場見学セミナーと当セミナーの一番の違いは、「自社とのあまりの違いにため息がでる」と「**自社の目指すべき姿とそこに至るプロセスがわかり、やる気が出てくる**」の違いにあります。いわゆる『未来工業本』や未来工業関係者の方からは決して学ぶことのできない内容が聞ける唯一のセミナーです。かつて一従業員の立場で『自社の未来工業化プロジェクト』に挑み大きな成果をあげた私の経験とノウハウは、必ずや皆様のお役にたつことでしょう!! 当セミナー受講は、御社を『働き方改革の勝ち組』にするためのささやかな『先行投資』です。

#### 当セミナーで習得できるノウハウ

『働き方改革』と会社利益を両立させる方法、労働生産性向上方法、失敗しないムダ取り方法、コスト削減方法、人材育成方法、快適職場の形成方法、従業員満足度および定着率の向上方法、従業員のスキルおよびモチベーション向上方法、顧客満足度向上方法

## 【講師】

㈱トータルマネジメントシステム研究所 代表取締役 角川 真也（ つのかわ まさや ）

中堅部材メーカーにおいて社内コンサルとして間接業務の「見える化」「最小化(ムダ取り+効率化)」「標準化」手法を全社展開、生産性を300%向上させ会社倒産の危機を救う。独立後は『組織マネジメントシステム(ERP)』自社構築による間接業務の生産性向上手法普及に専従。数値データ(時間・金額)を駆使した科学的マネジメント手法による組織パフォーマンス向上を得意とする(「TMS 研」でHP 検索可)。セミナー開催実績：92回/12年、受講者累計：998名、受講者評価：平均77.8点、著書『R&D部門の働き方改革とその進め方』(技術情報協会刊・共著)

## 【プログラム】

### 1.未来工業とは？

### 2.未来工業のどこがすごいのか？

- 1) 従業員のやる気と能力を最大化する仕組み(人づくり)
- 2) 徹底したムダ排除(小さな本社機能(全社比の2.3%)等)
- 3) 徹底した差別化戦略

### 3.未来工業はなぜすごいのか？

- 1) 日本人の正しいマネジメント方法を熟知している
- 2) 世間や業界の常識を盲信せず、自分の頭で考える
- 3) よいと思ったことをすぐ実行できる(大幅な権限移譲)

### 4.未来工業を正しく理解するためのポイント

### 5.未来工業から何を学ぶべきか？

- 1) 従業員が辞めない仕掛けづくり
- 2) ムダの徹底排除
- 3) 決して他社と同じことをしない経営戦略

### 6.あなたの会社を未来工業化する方法

- 1) 会社が儲かる3ステップとは？
- 2) 間接業務を「見える化」「最小化」「標準化」する
- 3) 従業員のやる気と能力を最大化するボトムアップ活動

### 7.見どころ解説 → バーチャル工場見学(写真・動画による)

### 8.質疑応答